

# 若者の地元就職促す

## 高雲東山 市内9社を見学 1・2年

丹波篠山市はこのほど、若者の地元定着につなげるため、篠山東雲高校の就職希望の2年生と全1年生計21人を対象に「企業見学会」を開いた。3コースに分かれ、各コース3社を訪問。従業員



巨大な精米機が並ぶ新中野工業兵庫精米所の工場内を見学する篠山東雲高校の生徒たち＝丹波篠山市福井で

員から事業内容の説明を受けたり仕事の様子を見学したりして、将来地元で就職する際の参考にしたい。

た。  
共栄樹脂、カサタニ、宏昌精機、福住山ゆりの里、テクノワーク、伸和工業、新中野工業、吉野ゴム工業、和寿園の9社を訪問した。

日本酒の原料、山田錦（酒米）のみの精米を手がけている新中野工業兵庫精米所（福井）には8人が訪れた。人事担当の

総務部長や、

所長らが、工場

の設立は2015年、従業員数8人、精米機台数16台、111軒の顧客（蔵元）を抱え、年間1万8000俵（1080ト）を生産していることを説明。

「玄米の状態から白米にし、さらに米を磨く（削る）ことで雑味の少ない日本酒を造ることができると。ただ、お米を磨くことによって味わいが大きく変化する」とした。

また、玄米からの精米歩合を段階的にパウチした酒米サンプルを生徒に配り、「注文の多い精米

歩合46%まで磨くのに55時間かかる。岡山県の本社で精米機を自社製造し、精米しているのは弊社だけ。この環境を生かして独自のノウハウやデータを蓄積しており、高品質の精米につなげている」と会社の強みをアピールした。興味深げに見学していた。 ぎ

さん（同、篠山

東中出身）は、「市内にこのような特殊な業態の企業があることを知らなかった。地元就職を考える上で、とても良い経験、体験になった」と話した。

篠山産業高校2年生の就職希望者7人と教職員5人も市内15社を見学した。09年度から実施している。

2026年3月29日

丹波新聞